

1 引用 学術論文では引用は必須

2用語

×生徒 ×教官
○学生 ○教員

興味深い記事を見た。NHK 記者ら三人がインサイダー情報による株取引容疑で取り調べを受けているという話である。この三人は報道局のテレビニュース制作部記者、岐阜放送局の記者、水戸放送局のディレクター。三人の間に連絡を取り合った形跡はない。

ということは、「このようなこと」が当該組織内ではごく日常的に行われていた蓋然性が高い。不正利用されたのはある牛井チェーンが回らずしチェーンを合併するというもの。

三人はニュースの放送前にこれを知り、うち二人は「放送までの22分間に専用端末で原稿を読み」回らずしチェーンの株を購入。株価は一日で1,720円から1,774円に上がり、3人は翌日売り抜けて10-40万円の利益を得ていた。この金額の「少なさ」が私にはこの不祥事の「日常性」をむしろ雄弁に物語っているように思われた。

もし、このインサイダー取引で1億とか2億とか儲けたという話なら、一サラリーマンが千載一遇の機会に遭遇して、ふと魔が差して、してはならないことに手を染めた・・・という解釈も成り立つが、NHKの職員がまさか10万やそこらで「人生を棒に振る」ようなリスクは犯すまい。

ということは、彼らにとってこれはごく日常的な「小遣い稼ぎ」であって、リスクを冒しているという感覚が欠如していたということの意味している。

ニュース原稿は放送前に約5,000人のNHK職員が閲覧するそうである。

近年のNHKの不祥事の質を徴する限り、「こういうこと」をしているのが5,000人のうちの三人だけであり、かつ今回だけであると信じる人はたぶん日本国民のうちに一人もいないだろう。

私はとくにNHK職員のモラルが世間一般のそれより低いとは考えていない。たぶん彼らの非常識と非倫理性は「世間並み」であろうと思う。だから、この事件は現代日本社会に瀰漫しているモラルハザードの構造を理解する格好の手がかりになるはずである。この三人は取り調べを受けたときに、「え？どうして、こんなことで事情聴取されなきゃいけないの・・・」と不満顔をしたらろうと思う。

モラルハザードの構造 http://blog.tatsuru.com/2008/01/19_0927.php

モラルハザードの意味は？

文脈(context)

情報検索の結果も文脈を意識する必要がある

英語

世界の学術論文の10%は日本人が関わっている

- 1 翻訳者は自分の訳す著作の内容をよく理解していなければならない
- 2 原文の言語と訳文の言語について深い知識をもっていなければならない
- 3 逐語訳になるほどに原文を敷き写しにしない。言語にはそれぞれ特有の構造があるのだから。
- 4 外国語から借用した日常的でない語は避け、誰にでもわかる普通の言葉を使え。
- 5 魂ばかりでなく、耳をも満足させるような、全体として調和のとれた文体に訳すようこころがけよ。

ドレ(Dolet, Estienne)一つの言語からもう一つの言語へうまく翻訳する方法 ()